

親子聖書日課

NO.1701 2021.5/2-8 名前

[日]重荷を負うて苦しむ者に、主は平安を与えて下さいます。ですから、自分の力で解決しようとせず、主の所に重荷を持って行きましょう。軛は一人で負わなくてよいのです。軛を共に負って下さる主と歩調を合わせれば、身も心も軽やかです。

[月]安息日は、主を礼拝するために働いてはならないと、沢山の規定がありました。主はいけにえよりも、憐れみを求める、「安息日の主」だと言われました。日曜日は、自分のためにあるのではなく、主を礼拝し、隣人を愛するためにあるのです。

[火]「傷ついた葦」「くすぶる灯心」は、役に立ちません。しかし、主は傷ついた葦を労わり、くすぶる灯心を燃やされるのです。この二つは、私達の心そのものです。一人で悩まないで、主の下に行きましょ。主の霊によって、心が燃やされます。

[水]しるしを見たら信じますという人がいますが、それは信仰ではありません。信仰とは、見ずして信じることです。主にはできないことはないと思て従うなら、しるしは伴います。しるしではなく、御言葉を求めて、その御言葉が成ると信じましょ。

[木]問題は、種を蒔く人ではなく、蒔かれた土地です。「道端、石地、茨」によい福音の種が蒔かれても、実を結びません。よい土地とは、「御言葉を聞いて悟る人」で、聞くだけではなく、理解し、信頼し、従う人です。御言葉に聴き従う人は、祝されます。

[金]毒麦は、最初は小麦と区別がつかません。つまり教会の中には、見せかけの信者と本物の信者が混じっているのです。ですから、お互いに気をつけましょ。神は世の終わりの時、彼らを裁かれますから、自分の感情で裁いてはいけません。

[土]主は譬えで、御国は全てのものを犠牲にしても手に入れるに値するもので、一端、手に入ると、全てのことを正しく判断できると教えました。御国の事を学んだ弟子達は、律法学者よりも優れた人になりました。私達も「わかりました」と答えたい。



	聖書	問題	答え
日	マタイ 11:20-30	主の軛を負い、主に学ぶなら、何が得られますか	
月	12:1-14	主が求めるのは、何であって、いけにえではありませんか。	
火	12:15-32	正義を勝利に導くまで主は傷ついた葦を折らず、何を消しませんか。	
水	12:33-50	よこしまで神に背いた時代の者たちは何を欲しがりますか。	
木	13:1-23	良い土地に蒔かれた者とは、御言葉を聞いてどうする人ですか。	
金	13:24-43	人々が眠っている間に敵が来て、麦の中に何を蒔いて行きましたか。	
土	13:44-58	天の国は、商人が何を探しているようなものですか。	
		感想と祈りの課題	